トルク付L形ホンカンレンチ　取扱説明書

■はじめに

この取扱説明書はトルク付L形ホンカンレンチの基本的な操作と安全な取扱い方法が記載しております。

品名	品番
トルク付L形ホンカンレンチ２４	ＲＷＨＴ－２４
トルク付L形ホンカンレンチ３０	ＲＷＨＴ－３０

この取扱説明書は、トルク付L形ホンカンレンチを安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。

お読みになった後は、トルク付L形ホンカンレンチをご使用される方が、いつでも取り出してお読みになれるように保管しておいてください。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので、内容をよく理解してからお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損傷の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守りください。

■使用目的

①主として、ダクタイル鋳鉄管（水道・下水道等）の接合部に用いるT頭ボルトナットを一定のトルクで締付けるための工具で、手で持って使用します。

■仕様

品名	品番	六角対辺寸法	トルク設定値
トルク付L形ホンカンレンチ２４	ＲＷＨＴ－２４	２４mm	６０N•m（６kgf•m）
トルク付L形ホンカンレンチ３０	ＲＷＨＴ－３０	３０mm	１００N•m（１０kgf•m）

●締付対象材

①ダクタイル鋳鉄管K形・A形（JIS G 5526）及びダクタイル鋳鉄異形管K形・A形（JIS G 5527）の接合部に用いるT頭ボルト用ナット。

品名	呼び		T頭ボルト用ナットの締付トルク
	K形	A形	
トルク付L形ホンカンレンチ２４	７５	７５	６０N•m（６kgf•m）
トルク付L形ホンカンレンチ３０	１００～６００	１００～３５０	１００N•m（１０kgf•m）

（注）管メーカーまたは監督者等の指示により、締付けトルクが上表と異なる場合には、このレンチは使用できません。

■安全上のご注意

⚠ 警　告

①レンチを締付け対象材に対して斜めに取り付けた状態で使用されますと、レンチが破損し大きな災害に結びつくことがあります。レンチが締付け対象材に対して直角になるように取り付けて、ゆっくりと負荷を確認しながら締付作業を行ってください。

②ハンドルが固定されていない状態で使用されますと、ハンドルが空転し大きな災害に結びつくことがあります。ご使用の際には、ハンドルが固定されていることを確認の上、締付け作業を行なってください。（使用方法参照）

③締付け作業時には、ハンドルをレンチ頭部側に押さないでください。ハンドルが固定されない状態となり、ハンドルが空転し大きな災害に結びつくことがあります。

④足場の不安定な所での作業は、滑ったり、落下するなど大変危険です。正しい姿勢で作業ができる安定した足場を確保して、作業を行なってください。

⑤このレンチの取扱説明書に表示された仕様の範囲を超えてご使用になりますと、レンチが破損し思わぬ事故の原因となりますので、仕様の範囲を逸脱する使用は絶対にしないでください。

⚠ 注　意

①このレンチはトルクの感知機能付の精密工具のため、取り扱いには十分注意してください。

②ネジの緩め、既設管の解体などに使用されますと工具の破損につながりますので使用しないでください。

③パイプや棒などを取付けハンドルを長くして使用したり、放り投げたり、また、ハンマーでレンチを叩いたり、逆にハンマー代わりに物を叩いたりすると、工具の破損につながりますので、絶対にしないでください。

④レンチに力を加える際には、弾みをつけたり、足で踏みつけたりしないでください。また、トルク感知（カクッという音と手ごたえ）後に、さらに力を加えることはしないでください。

⑤分解や改造はしないでください。規定のトルク値が得られないだけでなく、工具の破損につながります。

⑥トルク感知部は防水処理を施してありますが、水中につけたり、雨水のあたる場所に放置しないでください。内部に水が浸水すると故障の原因となります。

⑦使用後は汚れを取り除き、ラチェット部には注油をして、湿気のない場所に大切に保管してください。

⑧工具は常に点検をし、磨耗や損傷のある状態では使用しないでください。特にトルク測定部に損傷があったり、反応が悪い場合には規定のトルク値が得られていない場合があります。異常が認められた時には、点検・修理を受けてください。

⑨ホンカンソケットをご使用になる時は、ホンカンソケットが抜け落ちる場合がありますので注意してください。

■使用方法

①ソケットの長い方が締付け側となっています。
②ソケットの長い方をナットに差し込み、締付け方向にハンドルを何度か往復させて締付けを行なってください。
③管をはさんで反対側のナットの締付けには、ハンドルの方向を１８０°回転させてソケットの長い方をナットに差し込み使用してください。(図１)
④上記②・③の作業を、締付完了直前はゆっくりと力を加えるようにして、トルク感知（カクッという音と手ごたえ）するまで繰り返し行なってください。(図２)
⑤トルク感知後に、さらに力を加えて締付けしないでください。
⑥ハンドルは、レンチ頭部側に押すことにより回転させることができ、１８０°回転させたところで力を抜くと再び固定できます。ご使用の際には、ハンドルを軽く回してみて回転しないことを確認してから、締付け作業を行なってください。(図３)
⑦レンチ頭部が管接続部で干渉する場合は、別売のホンカンソケットをご使用になると便利です。(図４)

図 1

図 2

図 3

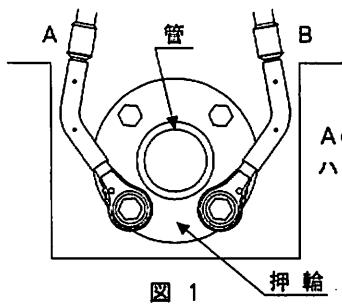
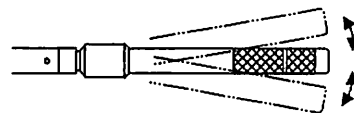
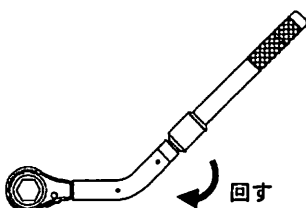
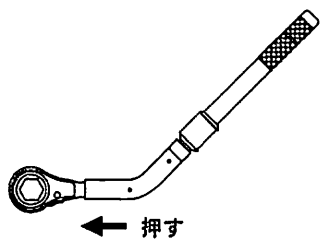
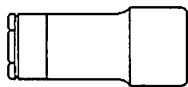
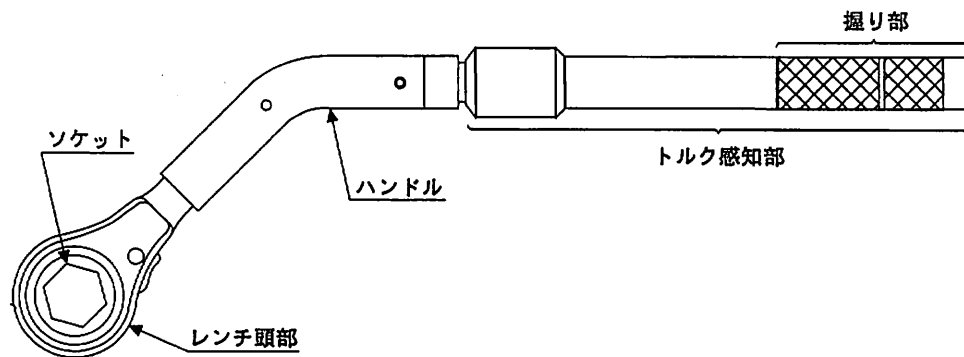



図 4

商品名	品番
ホンカンソケット２４	ＲＷＨＳ－２４
ホンカンソケット３０	ＲＷＨＳ－３０

■各部の名称

■定期点検

このレンチはトルク感知機能付機器ですので年１回または使用１万回でトルク精度管理を行なってください。

MCC 松阪商事株式会社

■ 本 社
〒578-0965 東大阪市本庄西２丁目８２
ＴＥＬ〔06〕6747－6921
ＦＡＸ〔06〕6747－6926

■ 東 京 支 店
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町２丁目２－２ 大和銀行ビル５Ｆ
ＴＥＬ〔03〕3661－6055
ＦＡＸ〔03〕3661－6049

■ 名古屋営業所
〒460-0024 名古屋市中区正木２丁目１５－１３
ＴＥＬ〔052〕332－4559
ＦＡＸ〔052〕331－9395

■ 福 岡 営業所
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南３丁目３－２５
ＴＥＬ〔092〕441－3016
ＦＡＸ〔092〕441－3024

■ 広 島 営業所
〒730-0802 広島市中区本川町１丁目３－２
ＴＥＬ〔082〕292－5288
ＦＡＸ〔082〕233－2471

■ 仙 台 営業所
〒984-0042 仙台市若林区大和町４丁目１５－８
ＴＥＬ〔022〕235－6014
ＦＡＸ〔022〕235－6027

■ 札 幌 営業所
〒062-0001 札幌市豊平区美園１条２丁目２－１３
ＴＥＬ〔011〕822－8570
ＦＡＸ〔011〕832－4041

■ 北関東営業所
〒373-0851 群馬県太田市飯田町１２４５番地の１ 金十清水ビル
ＴＥＬ〔0276〕48－9116
ＦＡＸ〔0276〕48－9117

■ 神奈川事務所
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間１５９８
ＴＥＬ〔0462〕77－8602
ＦＡＸ〔0462〕77－8632

株式会社松阪鉄工所